

精神薄弱幼児の治療教育の研究(3)―対人的活動の発達―

○堤 順子 川島 杜紀子 小林 節子 津 守 真 西山 恭子
(日本総合愛育研究所) (同 左) (お茶の水女子大学) (同 左) (日本総合愛育研究所)

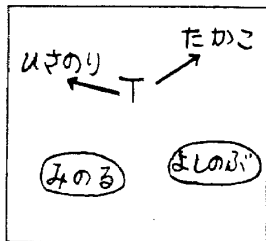
目的と方法：当精神薄弱児グループでは、精神薄弱児の対人的な活動を発展させるために、さまざまな試みを行っている。その中で特に、箱積木、ままごと等は、対人的活動を発展させる重要な材料となつて来たと思われぬので、記録の中からそれ等を中心にして考察・分析をし、対人的活動を発展させるための技法、及び、精神薄弱児の対人的活動の内容を明らかにしたいと思う。

結果：

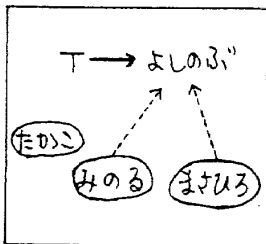
1. 教材を中心にした対人的活動の展開

箱積木とままごとを中心にして発展した対人的活動の例を次にあげる。Tは指導者 →は指導者の指示誘導、↔は子どもの他の子ども又は指導者へのゆきかけ、↔は相互交渉、○で囲んだものは自発的場面参加をあらわす。

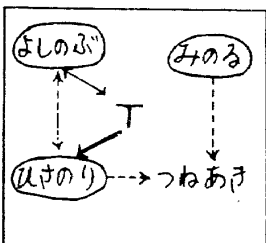
<展開例1>―指示誘導により展開した場合―



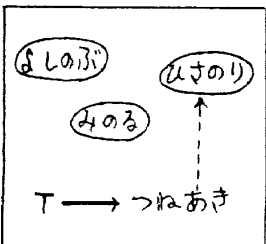
T箱積木を出している
Tたかこ、ひさのりに積木を持たせる。
よしのぶ、みのる来て積木をならべる。



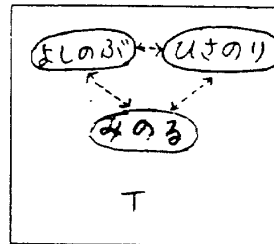
T「んにちわ、お家よ」
よしのぶを復かせて屋根を作る。みのる屋根のすきまからのぞく。まさひろ来て笑つてよしのぶのふとんをばく。



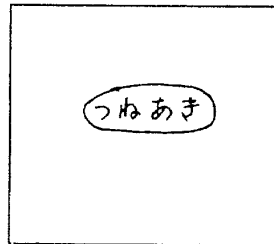
Tとよしのぶが本をみていると、ひさのり来る。よしのぶ、ひさのりを押しつける。Tひさのりにつねあきを呼びに行かせぬ。



よしのぶ、ひさのり、みのる積木。Tつねあきをひっぱつて来る。つねあき逃げる。つねあき、ひさのりがころぶのをみて笑う。



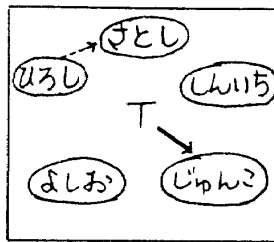
よしのぶ、みのるが布ホールを投げ合う。ひさのりも来て投げる。
T積木の家から出て来る。



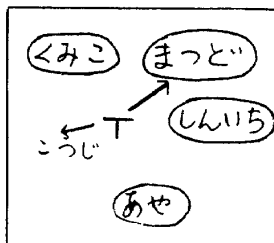
誰れもいなくなった積木の家に一人によって来てねころがつている。

(40年6月10日
10:45 ~ 11:20)

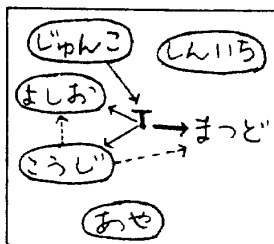
<展開例2>―自発的に展開した場合―



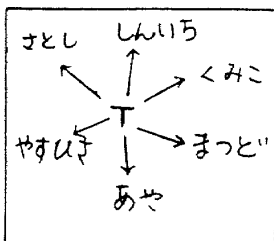
T積木を自動車にして「カーブー」と言う。みんなまねをする。Tじゃんこを抱してのせる。ひろし自分も乗ろうと、さとしを押しつける。



くみこ、まつど積木を持って来て積む。T「もつて来て」「もっと大きくして」とさそう。しきりに積む。



じゃんこ積木を山にみたくて登る。まねして登る。Tまつどをさそう。こうじ、よしおとまつどを理由なく押す。



T「おかたつけよ」とさそう。一人一人にさそいかける。積木を渡す。

(40年7月17日
11:00 ~ 11:30)

2. 社会性を中心とした活動を発展させるための技法

対人的活動を発展させるためには、まづその背

景となる活動を発展させなければならぬが、そのための技法として、分析の結果、次のようなものが考えられた。

1 環境構成と許可	・ 適当な部屋・教材を整える ・ やっていいのよ、どうぞ ・ 強制、禁止をしない。
2 単純指示	・ たの積木持って、おいて ・ 積木を渡す。
3 強制	・ ひっぱってつれて来る。
4 誘導	・ 「いらっしゃい、しましよう」 ・ 「もっと大きくしてね」 ・ やってみせる
5 イマジネーションの構成	・ 積木で囲った家を作る ・ 「ほらうちが出来たわよ」 ・ 家に入っておじぎのまね。
6 イマジネーションの追加	・ ままごと道具を入れる ・ 「ごちそうが出来ましたよ」 ・ お茶をのむまねをする。
7 承認	・ 「大きくなったわね」 ・ 「おいしそうなおちそうね」
8 禁止	・ 「いけません。ひわって来て」

3. 子ども同志の対人的活動を促進させるための教材

対人的活動の促進に、次のような教材が有効であった。

- (1) 一つの区切られた空間を持つもの
例：大きな木箱、カンボール箱
衝立で仕切られた部屋の隅
囲いのあるままごとの家、など
- (2) 同時に同じことが出来るもの
例：沢山の布製小ボール
ままごと道具、積木、砂場 など。
- (3) 二人以上で使うことが出来るもの
例：二人以上乗れる木製大汽車
ロープの汽車、四人乗りグラブ、シーソー、荷台のある三輪車、など
- (4) 一人で使うことの出来ないもの
例：引っばらないと動かない汽車
一人で動かせない重い積木
角力用マット など

4. 対人的活動の内容分析

本研究期間中に於ける被験児たちの対人的活動の内容は、箱積木、ままごとの場面を中心にまとめると、大体次のようである。

(1) 対人的活動場面への参加態度の分析

1 指示に従う行動	・ 言われて積木を置く ・ 渡されて積木を置く
2 誘導による場面参加	・ いらっしゃいと言われて来る ・ やっているのを見て来る
3 場面への消極的参加	・ 坐ってみている ・ みて笑っている
4 自発的場面参加	・ 自分からよって来る
5 活動の継続	
6 誘導による活動の展開	・ もっと大きくしてねと言われ ・ てさらに積む。
7 自発的活動展開	・ 積木に登る
8 イマジネーションによる参加	・ ブーブーと自動車のまねする ・ おじぎをして入って来る
9 満足感の表現	・ 積木をつんで手をたたく ・ 声をだして笑う

(2) 対人的活動の具体的内容

1 渡す 受け取る	・ くみこ、ゆみえに積木を渡す ・ ゆみえ受け取り積む。 ・ ひざとし、ひさのりに積木を渡す、ひさのり受け取らない
2 取る 取りかえす	・ ゆみえ、まさひろの持っているおもちゃを取る、まさひろ取りかえす。 ・ ゆみえ、うすだの石けんを取る、うすだ「ケンケン」と言っ て手を伸ばす。
3 ほしがる 貸す	・ ひなこまな板をほしがる、こ うじ言われて貸す
4 一緒にいる	・ れいことはこだ箱の中に一緒 に入っている
5 みている	・ まさひろ、たけしがグラブイン ドをいじるのを見て笑う
6 まねをする	・ しんいちが人形をお風呂に入 れるのを見てほこだまねする
7 攻撃的ゆまかけ それに応じる	・ たけし、みのるをぶつ、みの る扁そうにおさえつづくる
8 言われてゆまの ける	・ ひさのり、言われてつねあま を呼びにく ・ まさひろ言われてたのこをひ っぱり起す。
9 好意的ゆまかけ それに応じる	・ まさひろ笑ってましのぶのふ とんをばく、ましのぶ起きる。
10 協力をする	・ まさひろ、くみこが人形に靴 をはかせろのをじっとみている、手はつてはかせる